

新品種「天空のしずく」検討会 (Vol. 19 令和7年6月)

上伊那・南信州管内の技術指導者を中心に構成される「伊那園芸技術振興委員会」が主催する、日本ナシの新品種「天空のしずく」の検討会が6月25日に南信農業試験場で開催され、25名が出席しました。

本検討会では本品種の成熟特性と果実熟度の把握、また場内での生育状況と結実特性について担当職員から報告し、闊達な意見交換が行われました。また、各産地における本品種の状況について報告がありました。

「天空のしずく」(南農ナシ6号)は当試験場が育成した新品種で、

- 1) 収穫期は9月上～中旬、
- 2) 糖度は15%、酸度はpH4.8程度でシャリシャリした食感が楽しめる、果汁が多いことから食味が良好、
- 3) ナシの主要病害である黒斑病、黒星病に強く無袋栽培が可能、
- 4) 花芽の着生が良好

など、食べる人にはもちろんのこと、栽培する人にも大きな魅力がある品種です。

本年も、秋の「試験場一般公開」では本品種の試食に加えて、販売(数量限定)を予定しています。9月13日(土)に開催しますので、ぜひお越しください！(詳細は後日、ホームページに掲載します)



成熟特性と果実熟度の把握について報告



ナシ園での品種検討